



2017年度 年主題〈愛されて育つ〉

1・2歳児 10月主題 「うごく」

月のねがい

- ◎見えない神さまの存在を感じ、共に礼拝する
- ◎リズムに合わせて体を動かすことを喜ぶ
- ◎秋の自然の中でのびのびと外遊びを楽しむ

3・4・5歳児 10月主題 「動く」

月のねがい

- ◎神さまのくださっている力と知恵を合わせて、共に過ごす
- ◎生活や遊びの中で、自分の気持ちや考えを表現し、友だちや保育者と伝え合う喜びを味わう
- ◎いろいろな遊びのなかで、体を十分に動かして楽しむ
- ◎気候の変化を体で感じながら、衣服の着脱や休息の調整をしようとする



運動会テーマ:『ぼくのいろ わたしのいろ』

今年の運動会のテーマが決まりました。友だちのいいところを認め、ちょっと苦手なところも受け入れられる。子どもたちには難しいテーマかもしれませんが。あわてん坊、怒りん坊、泣き虫などなど、いろんな個性の子どもたちがいます。子どもたちが一緒に過ごす時、すてきなところを真似して喜んだり、小さなトラブルが発生してケンカになったりと、毎日いろんな出来事が起こります。でも、ある瞬間に、違う考えや面白い考えに出会って、なるほど・・・と受け入れていくのが集団生活のおもしろさです。その中で、子どもたちは育ちあい、成長していくようです。

運動会を今週末に控え、子どもたちのおけいこもラストスパートです！そんなある日のエピソードを紹介します。



リレー遊びでの年中児Tくんと年少児Nくん。Nくんは自分のチームが1番に走ってこないことに気分を損ね「もう、走らない！」と怒りだし、走るどころか地団駄踏んで泣き出してしまいました。その場はなんとか、先生に手を引かれながら次の子にバトンをタッチして終わりました。

リレー終了後、TくんがNくんに「ぼくも前はね、1番じゃなかったら怒ってたんだよ！」と話していました。そのTくんの言葉には、「Nくん大丈夫！ぼくもそうだったよ！でもいつかぼくみたいになれるよ！」との意味が隠れています。Nくんの気持ちに寄り添い励ましてくれたその姿を見て、Tくんの優しさや心の成長が嬉しく、ほっこりした気持ちになりました。

花火は暗い夜空にいろんな色が混ざり合い、美しく飛び出していきます。子どもたちが一人ひとりの個性を輝かせながら、神様に置かれた場所で美しく咲いて欲しいと願っています。それぞれの価値ある世界の創造を祈りつつ、豊かな成長を応援していきたいものです。

松元

今月の聖句 「たねまくひとは、みことばをまくのです。」

マルコ4:14
 聖書の言葉は人類に平安と幸福をもたらす神様からのメッセージです。また、神の愛を受け入れると、死後神の国に受け入れてくださいます。聖書を聴く者、あるいは読む者の受け止め方に4つの型があります。無関心型 熱しやすく冷めやすい型 思い煩い型 結実型の4タイプです。種子を蒔く人は神さま。種子は聖書の言葉。四通りのタイプは人間の心を表します。以下、マルコ4章3節～9節より引用いたします。
 「種子を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている間に、ある種子は道端に落ち、鳥が来て食べてしまった(無関心型)。他の種子は石だらけの土の少ない所に落ち、芽を出したが、日が昇ると焼けて枯れた(熱しやすく、冷めやすい型)。他の種子はいばらの中に落ちた。するといばらが伸びて覆い塞いだので、実を結ばなかった(思い煩い型)。またほかの種子はよい地に落ち、芽生え、育ち、実を結び、三十倍、六十倍、百倍にもなった(結実型)。
 以上、イエス・キリスト様がお語りになった内容を紹介しましたが、読者の皆さんはどんな受け止め方をなさいますか？各自、自問自答してください。願わくは、読者が、キリスト様の言葉から、多くの実を結んでいただきたいと希望します。」

前理事長 池田公榮



粘り強く耐える力を！

この時期は毎年のことですが、天気はどうにもならないと思いつつ、やはり気に病んでしまいますね。何とか屋外での実施が叶うよう祈るのみです。子どもたちは練習の成果を十分に発揮して、元氣いっぱい楽しんでくれればと願っています。当日の皆様のご声援が、子どもたちのガンバリの源になることは間違いありません。宜しくお祈りします。

突然の解散騒ぎに紛れて、また新しい政党が誕生しました。この政党についての意見は申しませんが、本来、私たちが生きていく力とも言えるべき「希望」という言葉が、批判者たちによって揶揄されることは、余り気持ちのよいものではありません。選挙で選ばれた方は、これから育っていく子どもたちにとって、真に希望の持てる国を創っていく気概を、本気で現して欲しいと願うだけです。

最近、「ネガティブ・ケイ・パビリティ」という言葉を知りました。簡単に言えば「すぐには答えの出ない事態に耐える力」ということだそうです。「何かができる」という能力ではなく、「できない状況を受け入れる力」のこと。一般的に「ネガティブ」という言葉の響きは、否定的で負のイメージです。何事も前向きな姿勢「ポジティブ」が求められるのが世の常でしょう。しかし、現代では子ども時代から「いじめ」や「引きこもり」、「社会に出れば「ハラスメント」や「ストレス」に遭遇することも稀ではなくありました。ポジティブなマニアル思考だけではなく、稀ではなくなりました。ポジティブに遭遇することも稀ではなく、稀ではなくなりました。ポジティブなマニアル思考だけではなく、稀ではなくなりました。ポジティブに遭遇することも稀ではなく、稀ではなくなりました。

この時期を迎える、いつもレイチェル・カーソンの「センス・オブ・ワンダー」を思い浮かべます。生き生きとして新鮮な子ども感性(センス・オブ・ワンダー)は、「感じる」心や経験を通して、「知る」ことよりもはるかに大切で、幼児期はこの情緒や感性を育む時なのだと思っています。子どもたちがもつとも活発な活動を展開する実りの時期です。ゆつくりと周囲の自然を観察しながら落ち着いた時間を満喫したいと思えます。運動会、芋掘り、おにぎりパーティー、遠足など屋外での活動を通して、いのちはずむ時となることでしょう。

学園長

10月の行事予定

| | |
|--------|---------------|
| 3日(火) | 就学時健診 |
| 7日(土) | 第60回大運動会 |
| 8日(日) | 市民体育祭 |
| 9日(月) | 運動会予備日 |
| 10日(火) | 振替休日(1号) |
| 12日(木) | 芋掘り |
| 13日(金) | おにぎりパーティー |
| 18日(水) | 秋の遠足(3才以上児) |
| 25日(水) | 秋の遠足(0・1・2才児) |

11月の行事予定

| | |
|--------|------------------|
| 2日(木) | 弁当日 |
| 9日(木) | 誕生会(11・12月生まれ) |
| 18日(金) | スーパパーティー&おにぎり弁当日 |
| 18日(土) | 入園説明会 |

今井和子先生の「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」より「1歳児 なかなか寝つかない」

悩み 毎日夜10時ごろまで起きています。早寝早起きさせないとダメですか？

行動の意味 早寝することで成長ホルモンが分泌します

大人の睡眠は体や脳の機能を“維持する”ためのものです。起きている間に五感を使って得たさまざまな情報を、眠っている間に記憶として整理し、大脳を発達させているのです。さらに、生後3か月ごろからは睡眠中に成長ホルモンが分泌するようになります。それによって、体の新陳代謝をうながし、細胞組織を修復し再生するので、夜更かしさせず、早寝の習慣をつけることが大切です。

対応法 寝る前の決まりごとをつくり、早寝を習慣にする

夜更かしを防ぐためには、寝る前に入浴する、本を読む、子守歌をうたうなど、決まりごとをつくと、就寝時間が定まってきます。また、就寝30分前にはテレビを消し、気持ちを落ち着かせ、寝る時間になったら、部屋を暗くして遊べない環境をつくるのもひとつの手です。いつまでも明かりがこうこうとついていると、寝付けないことも多いのです。パパの帰宅が遅く、寝る時間と重なってしまうと興奮して起きてしまうことも。帰宅時間をずらしてもらおうか、遊ばずに本を読んであげるなどの工夫が必要です。また、昼寝は休息にすぎないので、長く寝かさないよう、1時間半くらいで起こし、日中は体を動かして十分遊ばせるのも重要です。




